



タンザニア

BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日 2014年1月
- 調査場所: ダルエスサラームのキマラ地区
- 調査対象: リリアン(仮名)さん一家
- 換算レート: \$1=Tsh1,620(2014年1月30日)



リリアンさんの一家



リリアンさん (52歳)

職業: 事務員

趣味は?
料理、お菓子作り

通勤交通手段は?
ダラダラ(乗合バス)

休暇の過ごし方は?
女性グループの活動
DVD(タンザニア映画)観賞

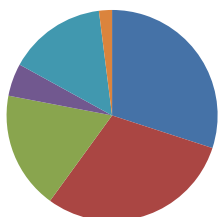
買い物場所は?
電化製品などはカリアコー
食料品は行商人や近所の店

今欲しいものは?
1.炊飯器
2.子ども用自転車
3.様々なサイズの料理の保温器

収支内訳

③収支内訳

- ・1か月の収350,000シリング(妻月給)
- ・支出内訳(食費30%、水燃料費30%、交通/通信費18%、保健医療費5%、日用雑貨/被服15%、その他2%)



- 食費
- 水燃料費
- 交通/通信費
- 保険医療費
- 日用雑貨/被服
- その他

家族構成

リリアンさん(44歳)、夫(別居中)
長男:(8歳:小学3年)、甥(12歳)、知り合いの子ども:(14歳)

世帯収入

リリアンさん収入: 月35万シリング

職業

リリアンさん: 会社事務員。
夫: 会社に所属している運転手

勤務地

ダルエスサラームの街中にある会社

勤務日数

月~金の間、7時半に出勤し、16時に退社。

出身地

キリマンジャロ州

職業紹介

ダルエスサラームの街中にある会社の事務をしている。勤続15年になる。月~金の間、7時半に出勤し、16時に退社。オフィスの掃除をしたあと、来客や電話の対応、従業員の出勤簿やNSSF(国民社会保障基金)の支払いや管理、オフィスの電気代や電話料金の支払いなどこまごまとした庶務、雑務を担当している。

夫とは都合により別居中で、家計も別だが、子どもの学費は夫が出している。

職場には、ダラダラ(乗合バス)2本を乗り継ぐ通勤に、渋滞の影響もあり、片道2時間以上かかることが多いので、近いうちに会社を退職し、自宅近くで自営業(裁縫などを主とした雑貨店)を始める準備をしている。

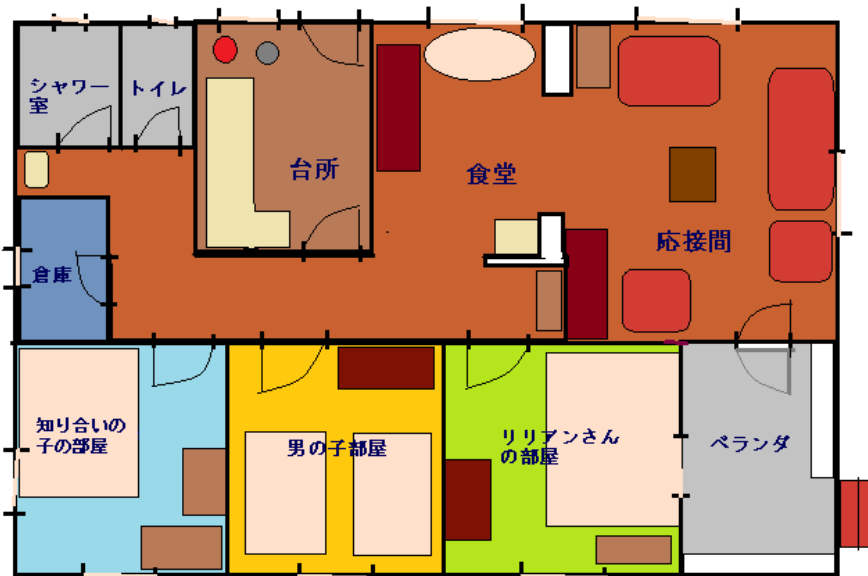
地域の女性メンバーの集まりにも参加している。現在15名ほどで、毎月1人1万シリングずつ拠出し、集まったお金でプラスチック製の椅子や大きなスプリア(アルミ製の鍋)などを購入して、有料で貸し出すなどして、資金を増やし、必要な者に融資するなどしている。グループで何か事業をおこせないかとも目論んでいる。また、個人では、化粧品やカンガ(布)を売る小さな店を出すとか、ミシンを手に入れてミシン刺繍を始めるなどということも考えている。また、現在10羽ほどいる鶏は主に自家消費用となっているが、体格のいい地鶏は1羽2万シリングで売れることもあるので、(スーパーなどで売っている精肉にしたブロイラーの鶏1羽分の販売価格は9,000シリングほど)、将来は餌の購入も考えながら環境を整えて、販売用に増やしていきたいと思っている。



住居

住居	住居は持ち家である。1998年に40万シリングほどで購入した1/4エーカーほどの広さの土地に5年ほどかけて少しずつ家を建て2003年から住み始めている。街中から約25kmほどのこのエリアには当時から結構住人がいた。この土地も向かいに住んでいるタンザニア人の持ち物だったのを売ってもらった。 玄関から入ってすぐが応接間、食堂に続き廊下沿いに台所とシャワー室とトイレ、寝室が3つとストアがある。
電力の有無	電気はきていて、月に電気代を1万から1万5千シリングほど支払っている。
水道の有無	水道は引いてないので、近所から水道水を買ってきて使っている。20リットルで100シリング。1日約300リットルは必要なので、月の水道代は約45,000シリングほどである。
トイレ	水は来っていない。DAWASCOというダルエスサラームの水道公社からの水道管はひかれていて、水道メーターもついているのだが、水が出ることはめったにない。水道水の入ったタンクを荷台に乗せた水売りの車がこの地域にはやってくるので、1,000リットル=1万5千シリングを月2回購入している。トイレやシャワー、洗濯などには近所から塩の混じった井戸水を購入している。バケツ一杯20リットルで150シリング。一日に約バケツ5杯分ほど必要になる。 下水は、庭に掘られた排水溝に貯められ、いっぱいになるとバキュームカーを呼んでくる。
電化製品	電化製品は、2013年にカリアコーで新品を25万シリングで買ったOLAF製のテレビ、デジタル放送受信用のデコーダーがStarTimes製のもの、DigTek製の二つがある。 前者はデジタル化される前の2010年のプロモーション価格のときに69,000シリングで購入。(定価は98,000シリングだった) 後者は2013年1月にデジタル化されてから、やはりプロモーション価格の7万シリングで購入した(定価12万シリング)。Star Times製のもので故障したので、DigTek製のものを買ったが、その後、修理により、StarTimesも使えるようになった。StarTimesのほうが調子がいいので主にそちらを使用している。DVDデッキはLG製で2011年に新品をカリアコーで購入。12万シリングだった。 冷蔵庫はINDESIT製の中古を2009年にムエンゲで23万シリングで購入。アイロンはRowenra製の中古を2010年に2万シリングで買った。お菓子作りなどに役立つ電気オーブンは10年以上前に知人から5万シリングで譲ってもらったが、今も活躍中だ(メーカーは不明)。
携帯電話	リリアンさんの携帯電話は、SIMカードが二つ入るNOKIA製。2013年に6万シリングで購入した。
その他	家庭菜園もあるのだが、現在は人手不足で有効活用できていない。10羽ほどいる鶏は屋間は放し飼いでいて、餌も自分たちで食べている。家の中のネズミ対策で猫も1匹飼っている。餌は残り物を与えている。

間取り図



家の入口ゲート



中に入ったところ



ベランダと玄関



垣根



応接間



飼っている鶏

入り口。
玄関ドアだけでなく、グリルがついている



裏の畑 (リリアンさんの土地)



応接間から食堂にかけて

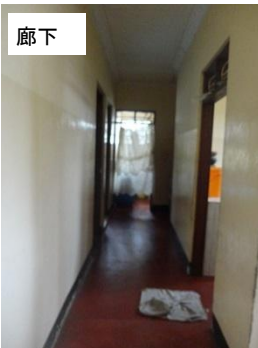


応接間の棚

食堂の食器棚



廊下



電気オープン
知人に5万シリン
グで譲り受けた。



リリアンさんの部屋



アーシャさんの部屋



倉庫の中



リリアンさんの部屋の
戸棚。

JETRO



洗面台



シャワー室



トイレ



冷蔵庫。INDESIT、2009、中古、Tsh230,000。ムエンゲで購入



デコーダー、DigTek、2013、新品、Tsh70,000。
その下DVDプレーヤー、LG、2011、新品、Tsh120,000



テレビ、OLAF、2013、新品、Tsh250,000、
カリアコーで購入



デコーダー、StarTimes、2010、新品、
Tsh69,000。

子供たち



アイロン、Rowenta、2010、
中古、Tsh20,000。



長男の水筒、
Tsh50,000。

甥は夫の兄の息子だが、兄が他界したために、引き取った。彼が小学校1年生のころからずっと一緒に暮らしている。親戚関係ではない、知り合いの子どもも、小さいころからときどき預かっていた。しかし、小学校を卒業したあと、進学も就職も予定がなく、知り合いから頼まれたので、家事見習いをするを条件に一緒に暮らしはじめて二月めである。もうすこし落ち着いたら昼間の洋裁学校へ通わせてやりたいと思っている。

リリアンさんの家の近くにも公立小学校はあるのだが、甥は同じ公立でも、街中の古くからある名門校に通っている。そういう学校にはバスや車で通学してくる児童も多い。ちゃんと先生が教えてくれる学校へ行かせたかったので、そこを選んだ。タンザニアの小学校は、100人以上が一クラスで学んだり、給料の遅配などもあり、教員のやる気が低下している学校も多い。

長男の就学の時には、同じ公立でも英語で授業をしている学校を選んだ(普通の公立学校は授業用語はスワヒリ語)。公立小学校は基本的に授業料は無料だが(それでも学校補修費などの寄付金を要求されることが多い)、授業用語が英語の公立校は年間15万シリングの授業料が必要になる。入学試験や面接もあり、希望者は誰でも入学できるわけではない。

両校とも8時の始業前の7時から1時間の補習授業があり、それに出席するには甥が月1万シリング、長男が月1万5千シリング支払わなければならない。必修ではないが、ほとんどの子どもが出席しているとのこと。現在のところ、教育費全般は別居中の夫が負担している。

リリアンさんが仕事に出かけている間、知り合いの子供が家事と留守番をしていてくれるので、以前よりも楽だが、全部は任せきれないので、リリアンさんが帰宅後に食事の後片付けや洗濯などを行っている。男の子たちにも身の周りのことは自分でさせる方針なので、彼らも自分の服を洗濯したり、食器洗いなどは当たり前に行っている。

JETRO

Copy rights(C) 2014 JETRO. All rights reserved.



食事

朝食: リリアンさんは平日の朝は午前4時半起きで、子どもたちのために紅茶を入れ、パンやマンダジ(揚げパン)などを用意するが、自身は朝食をとらずに出かける。

オフィスについて朝の清掃などの一仕事終了後午前9時ころに購入した焼きキャッサバ(一切れ500シリング)などとオフィスに備え付けの湯沸かしとティーバックで紅茶を入れ、朝食にする。

昼食: 前日に作りタッパーに詰めて自宅から持ってきたマカンデ(豆とトウモロコシの煮もの)や焼いたり茹でたりした料理用バナナなどをオフィスで食べるが多い。冷たくなった食事をとることを好まないタンザニア人が多いが、リリアンさんは平気だそうだ。節約にもなる。

子どもたちの小学校は公立だが、街中にあるので、スクールバスで通っている。戻ってくるのが夕方近くなるため、やはり焼きバナナやチャパティ(平たいパン)など、昼食代わりになるものを持たせることが多い。経費節減の意味もあるが、買い食い体調をくずすことを避ける意味合いも強い。小学校の前には屋台が出て、チップスやジュース、アイスクリームなどを子ども相手に売っているが、リリアンさんは衛生面に懸念があると言う。長男がこうしたジュースを買って飲んで、お腹を壊したことがあるそうだ。なので、自宅水道水を綺麗な木綿布などで濾過し、煮沸した水を水筒につめて毎日持たせている。

夕食: 米に塩と油を少し入れて炊いたごはん、マハラゲ(赤い豆の煮もの)やムチチャ(青菜)の炒め物など。子どもたちがタンザニアで一番愛する牛肉が好きではなく、鶏肉もそれほど好まないの、肉が食卓に乗ることは少ない。マハラゲは大好きなので、豆を5kg(2,200シリング/1kg)ほどまとめ買っていて、まとめてマハラゲの煮込みを作り、冷凍しておくことが多い。普段の食事作りが楽になる。キリマンジャロ州出身のリリアンさんにとってはバナナも大切な主食のひとつなので、晩御飯にバナナ料理を作ることも多い。タマネギ、ニンジン、ココナツミルクなどを混ぜて煮込めば、主食とおかずを兼ねた1品となる。

料理の燃料: ガスと炭を兼用している。短い煮炊きで済むものにはガスを、マハラゲを煮込むなど、時間のかかるものには炭を使うようにしている。しかし、炭は調理用のみではなく、シャワーを浴びるときのお湯を沸かすのにも使用している。ひと月で6.5 kgのガスボンベを使いきる。ボンベは、25,500シリングで同じサイズのガスの満ちたものと取り替えもらえる。炭は月に15,000シリング分くらい購入している。

料理はもちろん、お菓子作りも好きなので、時間のあるときには電気オーブンを使って子どもの喜ぶケーキなどを作ることもある。

週末の食事: 土日など、仕事が休みの日の昼食はウガリが主食のことが多い。マハラゲとムチチャなどの青菜のおかずのことが多いが、この日は、ニンジン入りムチチャの炒め煮とダガー(小さな干し魚)とニヤニヤチュング(ナスに似た苦味のある野菜)のムチュージがおかずだった。長男は、おかずをとらず、ウガリにヨーグルト(無糖)をかけ、混ぜながら食べていた。リリアンさんの故郷では子どもはよくこうして食べるそうだ。デザートにキュウリ。タンザニアではキュウリは果物扱いである。

買物: 青菜などは近くの店で。米やウガリの粉などは歩いて15分ほどのバス停近くの店で購入している。また、野菜や魚を売る行商人が毎日やって来る。行商人から買うほうが店で買うよりも概して安いのだが、来る時間が一定していないのが、難である。



炭のコンロ



コンロ付きガスボンベ



ニンジン入りムチチャの炒め煮(手前)とダガー(小さな干し魚)とニヤニヤチュング(ナスに似た苦味のある野菜)のムチュージとウガリ



キュウリのデザート



台所



時間

時間	リリアンさん		
	平日	土曜	日曜
4時30分	起床、身支度、子どもたちの朝食用意		
5時15分	家を出る(徒歩)		
5時30分	バス停到着		
6時		起床、身支度	起床、身支度
6時30分		子どもたちと教会へ	皆で教会へ
7時30分	職場到着、仕事開始 職場の清掃など	子どもグループの活動を 手伝う	ミサに出席
8時		帰宅、朝食	
9時	朝食(職場で) 出勤簿の管理	庭の柵の植木を整える 掃除、食材の買い物	
10時	受付業務、電気、電話料 金支払いなど	昼食の用意	帰宅。朝食 洗濯などの家事 (子どもたちも洗濯)
13時	昼食、昼休み	昼食	昼食用意
14時	仕事再開(長男帰宅)	休憩、昼寝など	昼食 休憩、昼寝など
16時	仕事終了(甥帰宅) 帰路(バス)	女性グループの集会	ケーキ作りやテレビや DVD観賞など
18時			夕食の支度と料理の作り 置き
19時	帰宅 夕食の支度	帰宅 夕食の支度	
20時	夕食	夕食	夕食
21時	子どもたちとお祈り (子どもたち就寝)	後片付け、子どもたちは テレビ観賞	子どもたちとお祈り (子どもたち就寝)
21時30分	洗濯などの家事	子どもたちとお祈り (子どもたち就寝)	後片付け、明日の用意
22時30分		テレビ観賞	就寝
23時30分		就寝	
24時	就寝		

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。